

第7回全国高校生英語ディベート大会エッセイコンテスト 審査結果

一般社団法人全国高校英語ディベート連盟
(HEnDA)

このたびは「第7回全国高校生英語ディベート大会エッセイコンテスト」にご応募いただきましてありがとうございました。またコンテストへの様々なご支援、とりわけ顧問の先生方に厚く御礼申し上げます。

今回のコンテストの三つの部門への応募の内訳は以下の通りです。

A 部門)	英語コミュニケーション部門	12 作品	
B 部門)	論題部門	14 作品	
C 部門)	Make-Friends 部門	15 作品	応募総数 41 作品

厳正な審査の結果、次の方々の作品を入賞としました。受賞された皆様、おめでとうございます。

最優秀賞 1 名 (全部門より 1 名) 假谷 采永 岡山朝日高等学校 (C 部門)

優秀賞 3 名 (各部門 1 名)	千葉 英彗	岩手県立一関第二高等学校	(A 部門)
	中道 璃南	佐世保北高校	(B 部門)
	美濃 穂乃花	山口県立大津緑洋高等学校	(C 部門)

優良賞 3 名 (各部門 1 名)	小泊 明日海	佐世保北高校	(A 部門)
	西村 真久	東京都立三田高校	(B 部門)
	馬原 未羽	静岡県立浜松西高校	(C 部門)

第7回のエッセイコンテストに応募くださった皆さん、ありがとうございました。

全ての作品が素晴らしいものでした。約 10 ヶ月間、原子力発電の問題について真剣に考え、チームで議論し、英語力を鍛え伸ばされた皆さんの取り組みが、大変意味深いものであったことを、エッセイの一文一文から感じることができました。皆さんは、今回エッセイの形で残され、その中で、その日々が掛け替えの無いものだったことを改めて確認されたことと思います。

我々連盟も、ディベートが、コミュニケーション能力と Make Friends の精神を育む大事な場だと再認識させていただきました。また、改めて大会の意義を深く感じた次第です。

2025 年度の取り組みは、もう始まっています。皆さんも、また皆さんの後を継いで頑張っておられる後輩の方々にも、ぜひ活動を充実させて頂きたいですし、次回の本コンテストにも応募頂ければ幸いです。改めて、この度はご参加ありがとうございました。